

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-
施設名	墨田区水神保育園
施設所在地	墨田区堤通2-6-9-103
法人名	社会福祉法人宝樹会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

【光と音】

<テーマの設定理由>

子どもたちは、光るものを追いかけたり、音の鳴る遊びに繰り返し関わったりする姿が多く見られる。そうした興味を広げながら【見て・聞いて・感じる体験】を大切にし、主体的な遊びへと繋げて行きたいと考え、本テーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

1 1月 電子黒板 納品

1 2月以降 会議や行事での活用（日々の保育でも利用）

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備物】 椅子や手作りハンドル。

【環境】 実際運転しているような椅子の設置。ダンスや人とぶつからない広いスペース。

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

- ・ 乗り物運転手
- ・ ダンス
- ・ 子ども会議
- ・ 職員会議
- ・ 行事での活用

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【乗り物運転手】大好きな電車やバスごっこの背景を映し出し、実際に運転しているかのように臨場感を楽しみました。「ガタンゴトン♪」「電車早い！」などワイワイ楽しんでいましたよ♪また秋は紅葉、冬はサンタさんなどの映像を見たり季節を感じられるようにしていきました。 【ダンス】画面を見ながらダンスをしたり、雨の日などはイマーシブエクササイズを行いました。歌を歌いながら踊ったり、「次はジャンプ!」「最後まで出来たよ!」など遊びの中で身体をたくさん動かせるので、ゲーム感覚で参加ができるので運動が苦手な子も積極的に参加をする姿が見られました。 【会議】課題を言葉だけではなく視覚的にも情報が入るので、子ども同士での発言が多く出るようになりました。また保育士との会話も増え「ここをこうしたい」など画面があるからこそ伝えられたり伝わったりがあり、子ども自ら提案をする姿が見られました。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

音や光による視覚・聴覚への働きかけが、子どもたちの興味関心を引き出し、主体的な行動や活動への意欲に繋がっていった。特に、視覚的な情報が加わることで活動の理解が深まり、子どもたちだけでなく職員にとっても見通しを持って効率的に進めることができた。季節の行事説明では、視覚で伝えられるので、小さいクラスの子も楽しく学んでいた。また、光と音の変化に対して子どもたちが敏感に反応し、自ら関わろうとする姿が多く見られ、環境の工夫が主体性を引き出す要因となっていたと感じた。